

1 本年度の重点目標

- ①社会の変化に応じた教育活動の推進
 ②多様な他者と関わる力の育成
 ③社会で生きて働く資質・能力の確実な育成と進路実現に向けた支援の充実
 ④安心・安全な居場所としての環境整備
 ⑤教育の質を高め、学びを保障するための資質・能力の向上対策の研究・実施

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
管理運営	社会の変化に応じた教育活動を推進している。	A	・新学習指導要領の内容を正確に捉えた教育課程を組んでいく。 ・社会の変化に応じられるよう、ICTの活用やICT教育の推進をさらに進める。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	タブレットの活用をさらに進めてほしい。 情報テレビの故障をプラスに捉えて、ICT教育につなげてほしい。				
学習指導	教育の質を高め、学びを保障するため、資質・能力の向上対策を研究・実施している。	B	・新教育課程の移行へのさらなる適切な対応を進める。 ・引き続き総合的な探究の時間における学習指導を充実していく。 ・基礎基本の定着ができるような指導課程の工夫を行う。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	先生方がいろいろ工夫して授業を行っている。Aでもいいのではないかとということで、自己評価の適切さはB評価になる。				
生徒指導	多様な他者と関わる力を育成している	B	・他者とよりよく関わるためのモラル・マナーの指導をさらに強く推進していく。 ・生徒が抱く困難さを解消できるよう個別の支援体制を充実させる。	B	A
学校関係者評価委員会における意見	挨拶もできるし、自分から話しかけてくれる。Aでもいいのではないかとということで、自己評価の適切さはB評価になる。今後さらに育成するには、今、学校がしていることを中途半端にせず継続していくことが大切になる。				
進路指導	社会で生きて働く資質・能力の確実な育成を行い、また、進路実現に向けた支援を充実させている。	A	・本年度、規定を整えることができたので、それを生かしながら、生徒に寄り添った、さらにきめ細やかな進路指導を実践していく。自らがやっている諸活動を進路実現へと結びつけていけるよう、働きかけを強化していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	規定がつくられたことにより、どの先生が指導にあたって同じ指導ができるようになったことがよい。				
環境整備	安心・安全な居場所としての環境を整備している。	A	・居場所CafeやノートCafeなど、物理的な環境整備に加え、相談体制も充実しているので、活用する生徒が増えるよう声かけをしていく。また、防災への備えもきちんととれている。今後さらに、関係各所と連携を密にしながらハード面・ソフト面とも居場所としての環境整備を進めていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	食堂などで生徒が笑談しているのを見て、いられる場所があるというのは良いことだと思った。設備面で通信回線が整備されるといいと思う。今後、ますます車椅子が必要な生徒が増えてくると予想されるので、バリアフリー化は大きな課題である。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 協働的な学びの推進	授業内やホームルーム活動等を通して、他者を意識し、多様な他者と関わることにより、尊重する教育を充実させる。
② 個別最適な学びの充実	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICT機器を利活用しながら教育活動を進める中で、その意義や個の実現にどのように結びつくのかを伝えていく。
③ モラル・マナー指導の推進	挨拶や目上の人への態度など、社会に出てから必要なモラル・マナーについての指導をさらに強化していく。

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

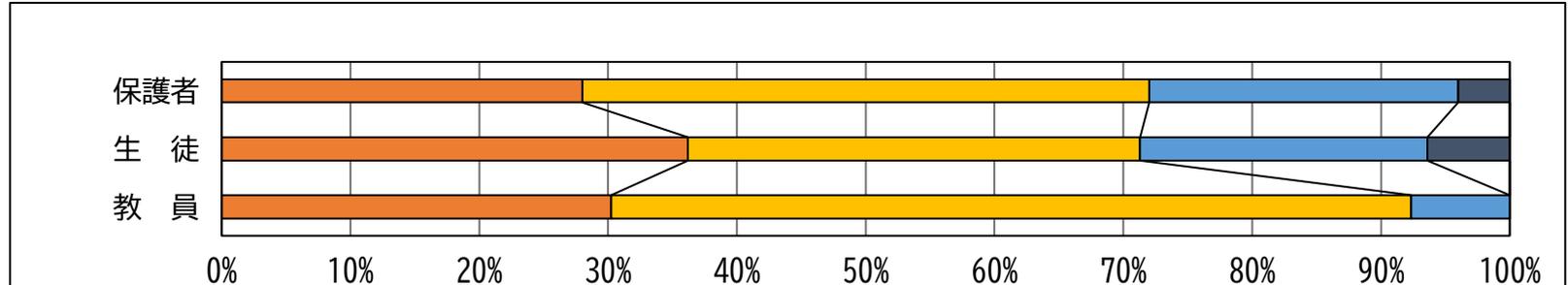
保護者、生徒、教員とも令和5年12月に実施

回収率（回答率）

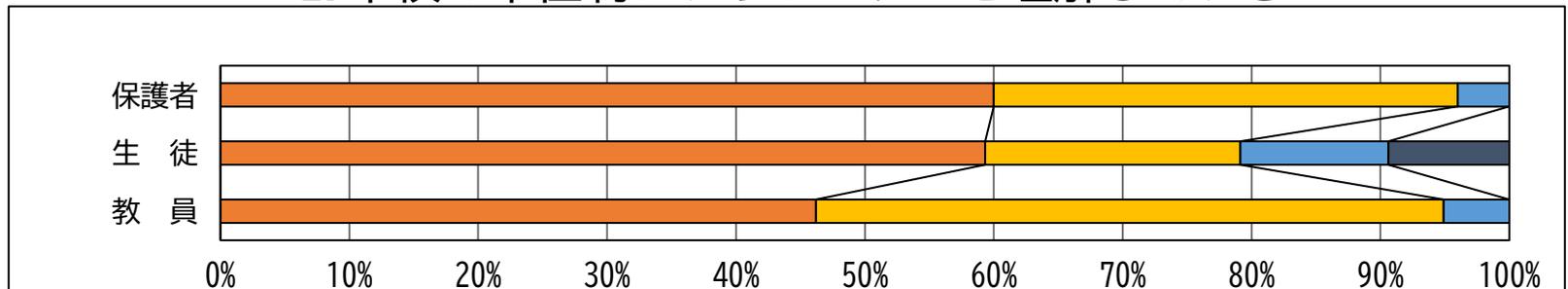
保護者56.3% 生徒83.8% 教員100%

回答の内訳
■よく当てはまる ■だいたい当てはまる
■あまり当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

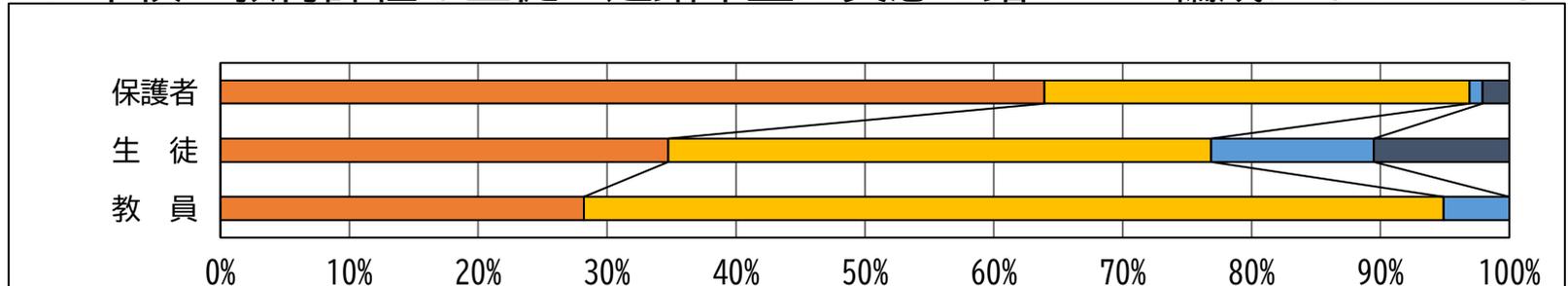
1. 本校の教育目標・教育方針を知っている（知らせている）



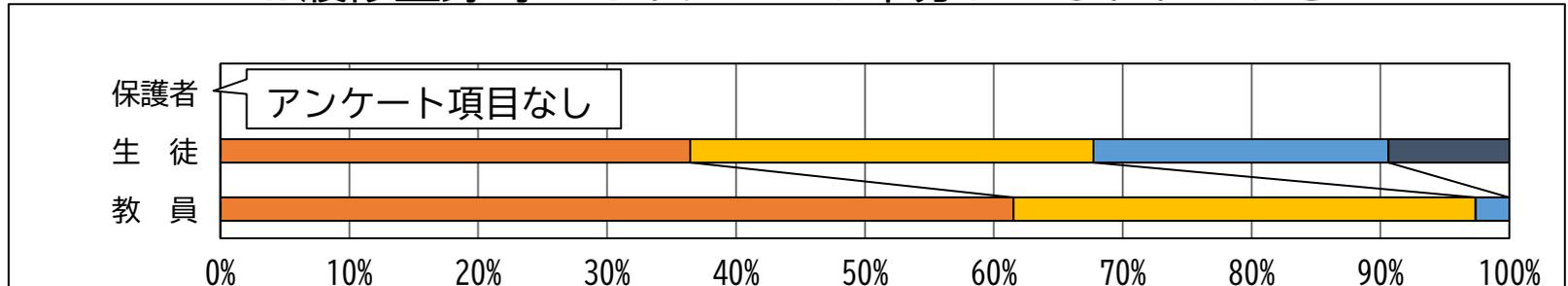
2. 本校の単位制というシステムを理解している



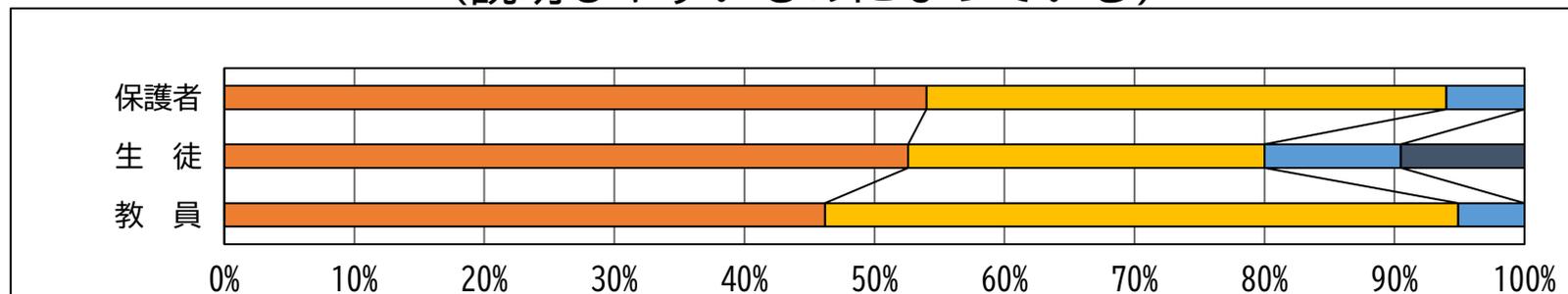
3. 本校の教育課程は生徒の進路希望や実態を踏まえた編成になっている



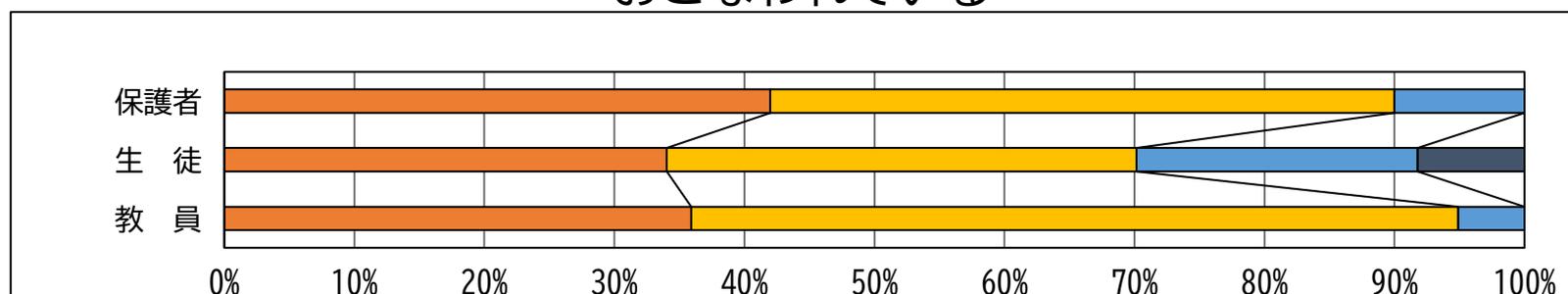
4. 履修登録時のガイダンスが十分おこなわれている



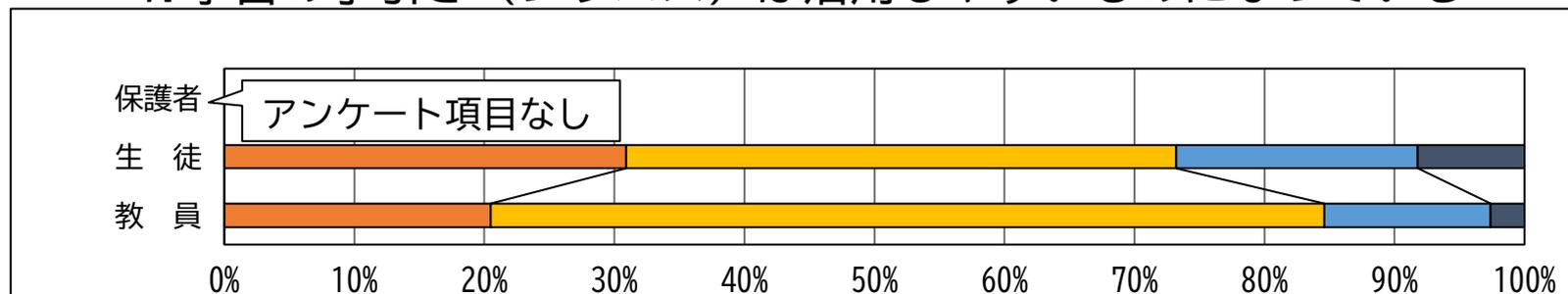
5. 学習の評価や単位の修得，卒業の認定について十分理解している
(説明しやすいものになっている)



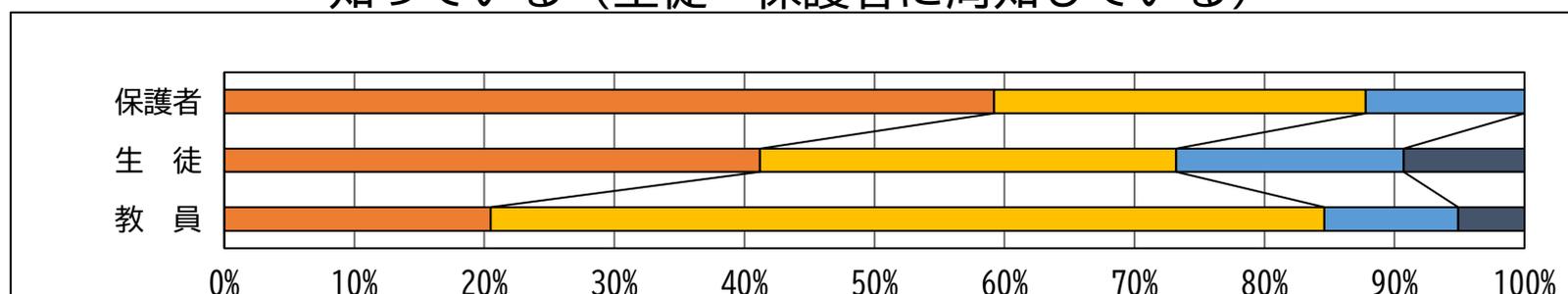
6. 学ぶ意欲を引き出し，学力を身に付けられるような授業がおこなわれている



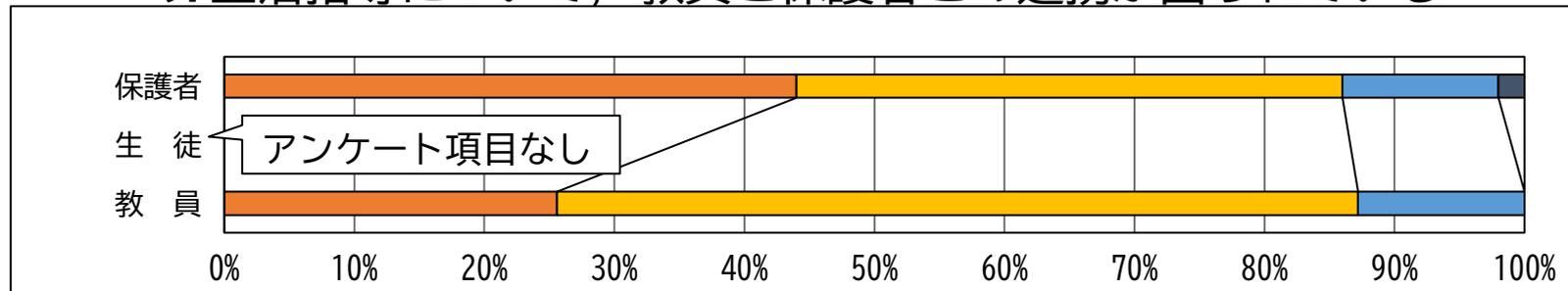
7. 学習の手引き (シラバス) は活用しやすいものになっている



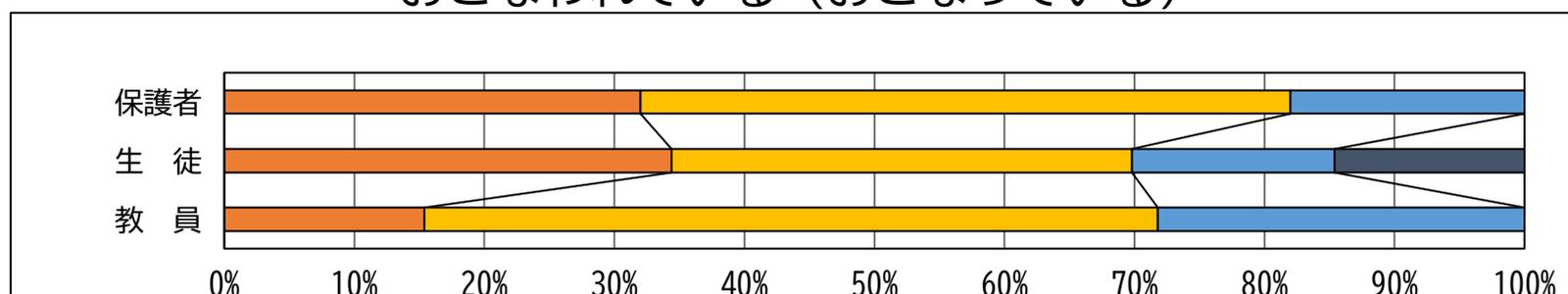
8. 本校が生活指導についての細かい規則を設けていない理由を知っている (生徒・保護者に周知している)



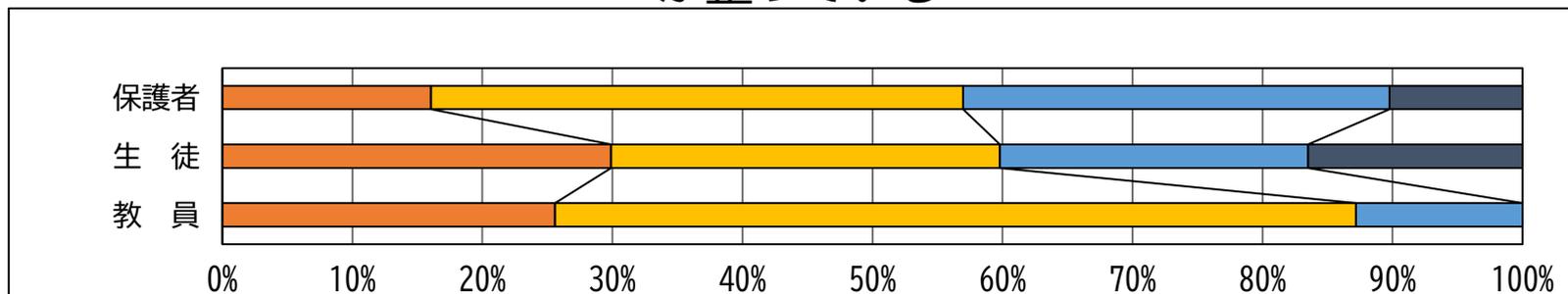
9. 生活指導について，教員と保護者との連携が図られている



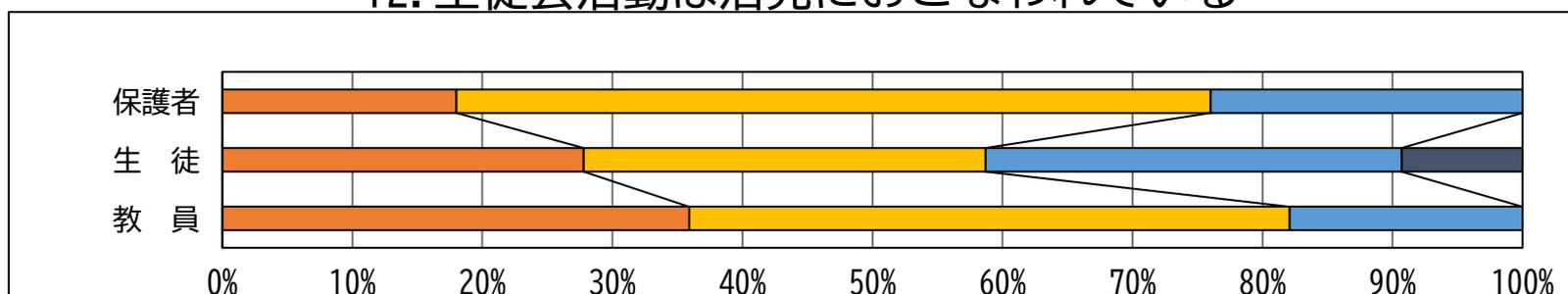
10. 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に向けた指導がおこなわれている (おこなわれている)



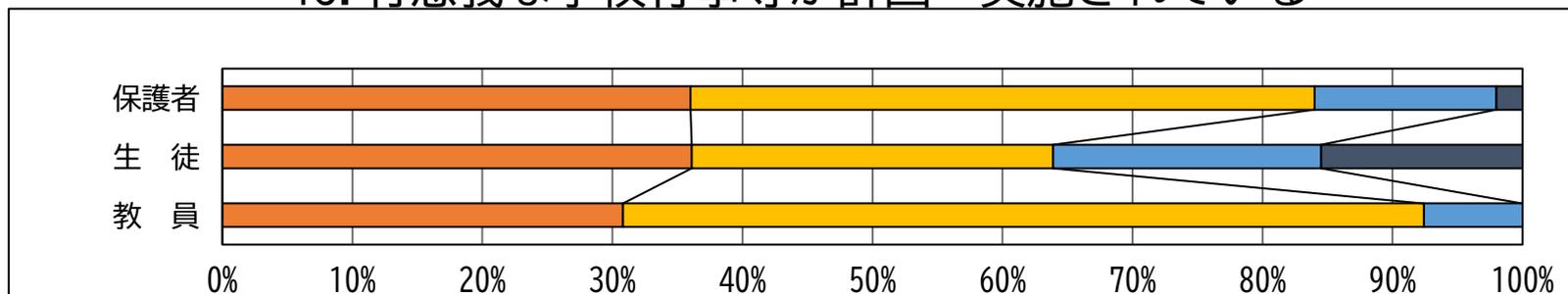
11. 部活動について，生徒が意欲的に発起や登録，活動ができる支援体制が整っている



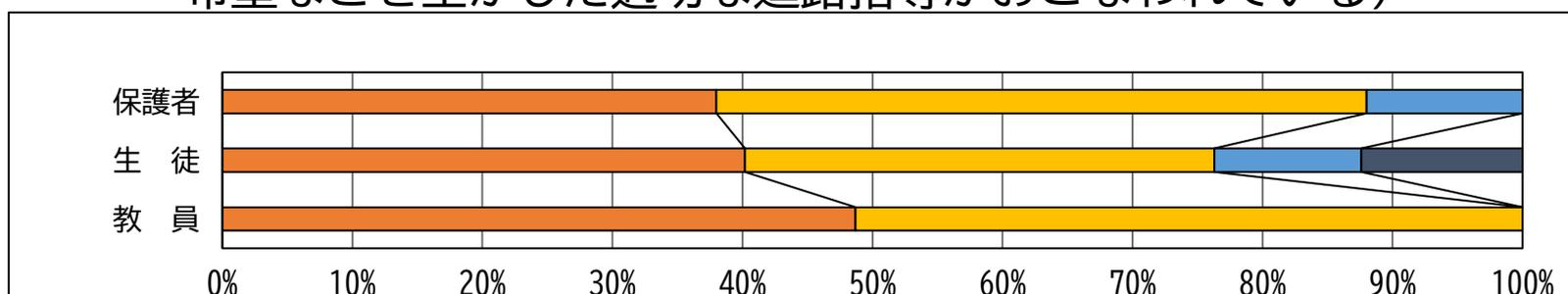
12. 生徒会活動は活発におこなわれている



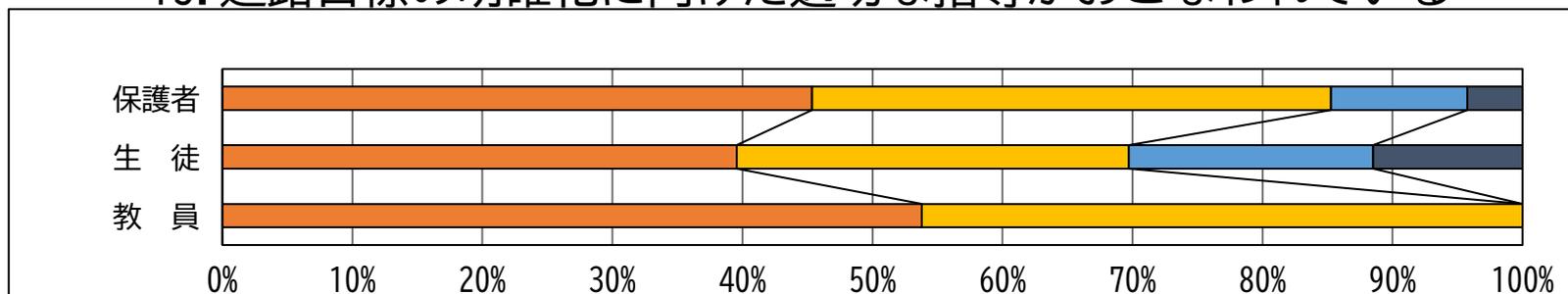
13. 有意義な学校行事等が計画・実施されている



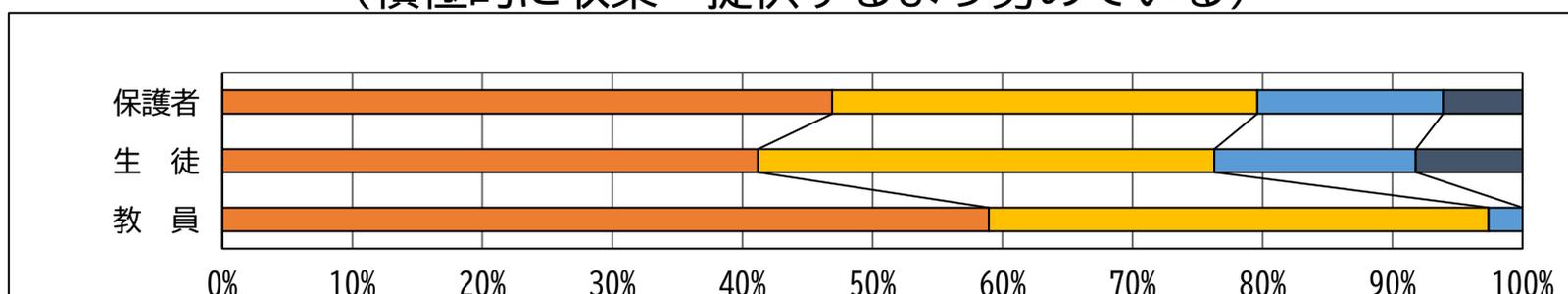
14. 進路についてお子さんと話し合っている (生徒一人ひとりの適性や希望などを生かした適切な進路指導がおこなわれている)



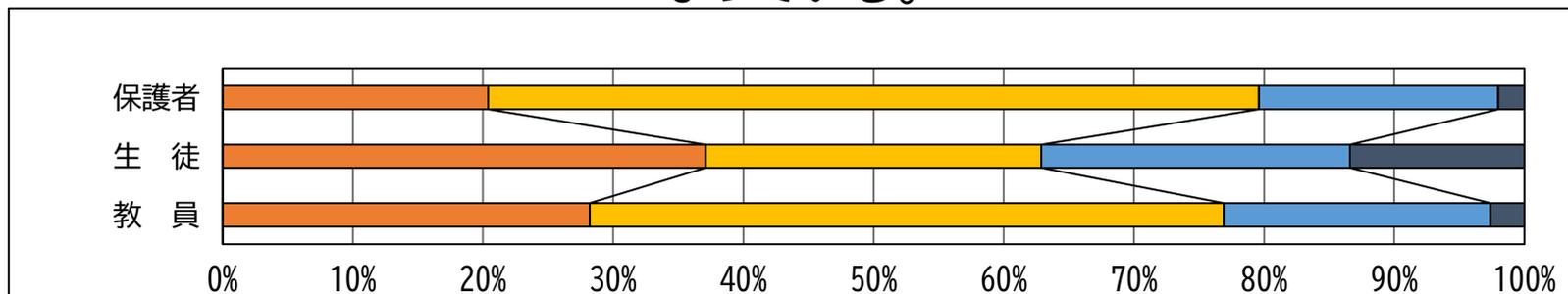
15. 進路目標の明確化に向けた適切な指導がおこなわれている



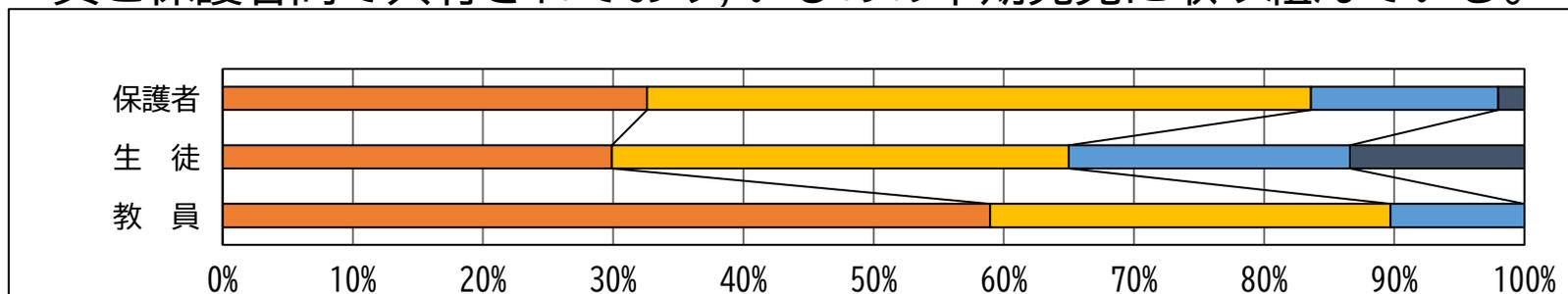
16. 進路に関する情報が適切に提供されている (積極的に収集・提供しよう努めている)



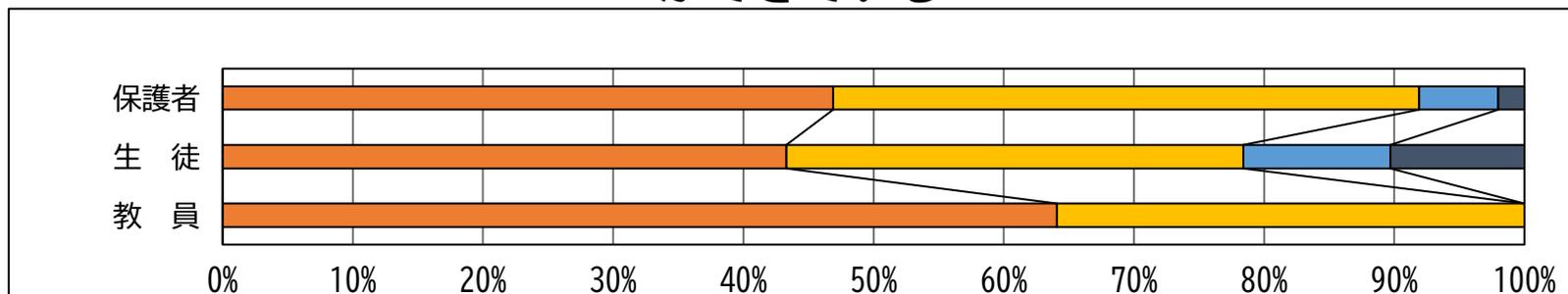
17. 「総合的な探求の時間」は、生徒の自己有用感の慣用に有効なものになっている。



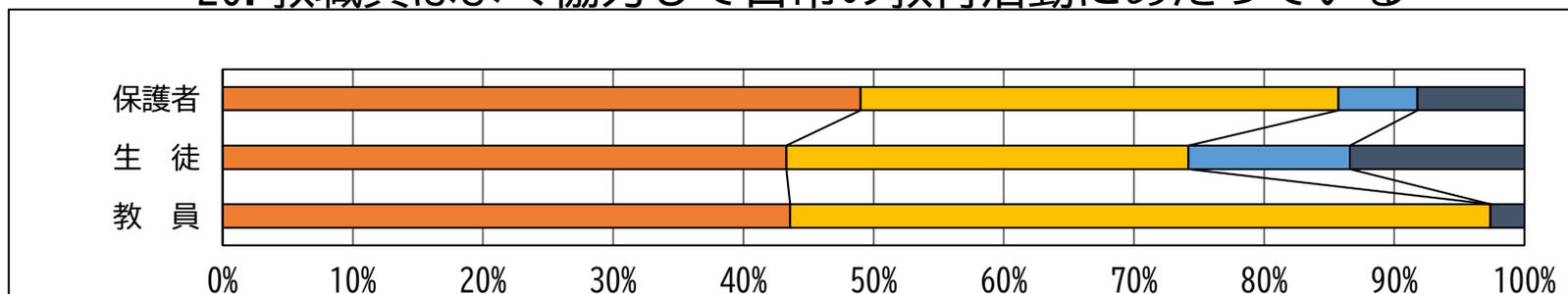
18. 学校として、いじめの問題に対する取り組み方針が職員間、および職員と保護者間で共有されており、いじめの早期発見に取り組んでいる。



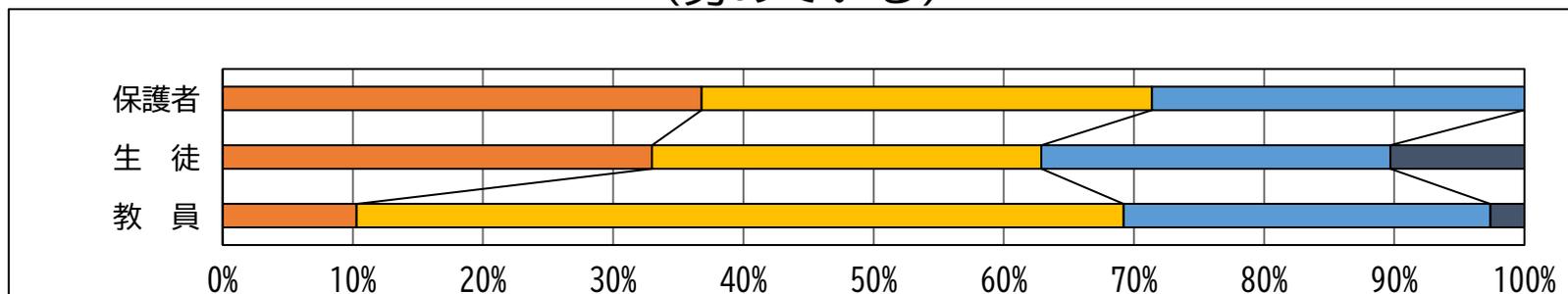
19. 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる（応じる）体制ができている



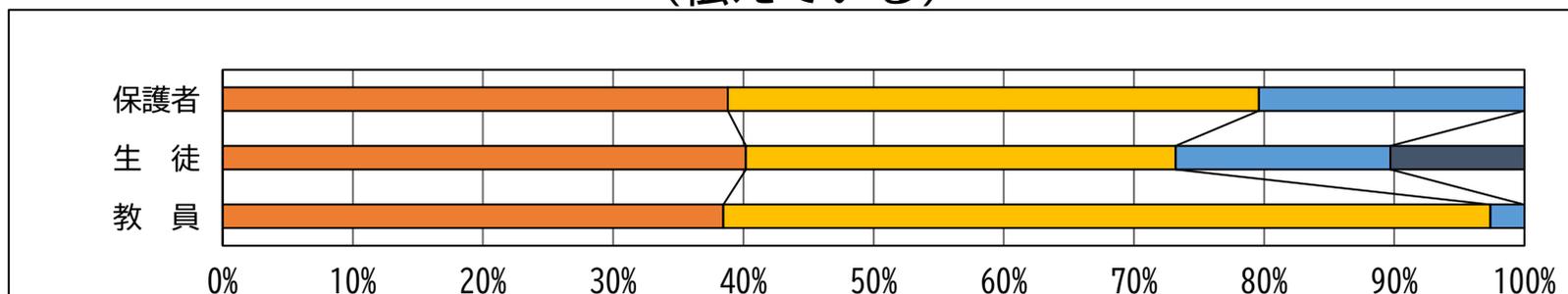
20. 教職員はよく協力して日常の教育活動にあたっている



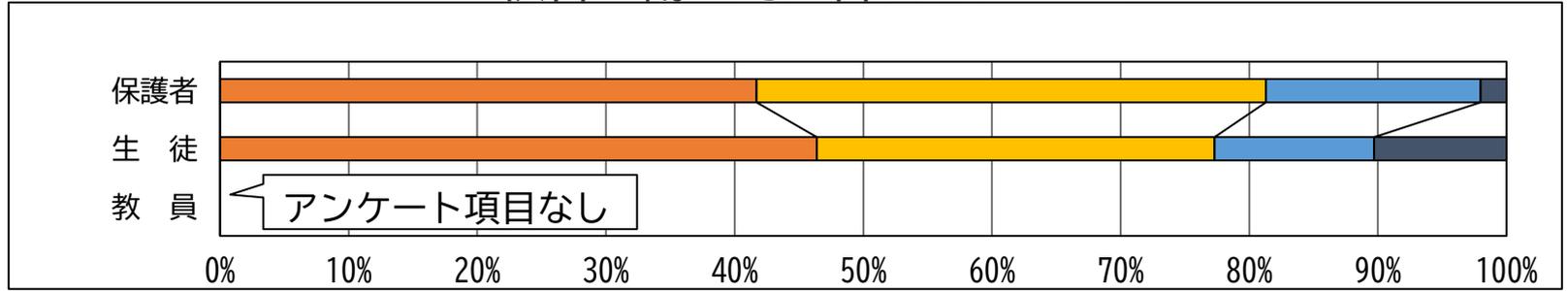
21. 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（努めている）



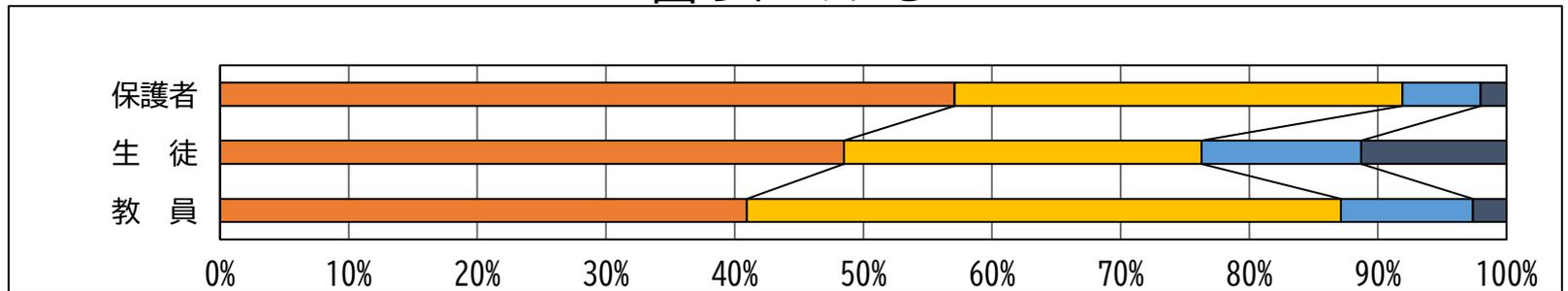
22. 本校から災害・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている（伝えている）



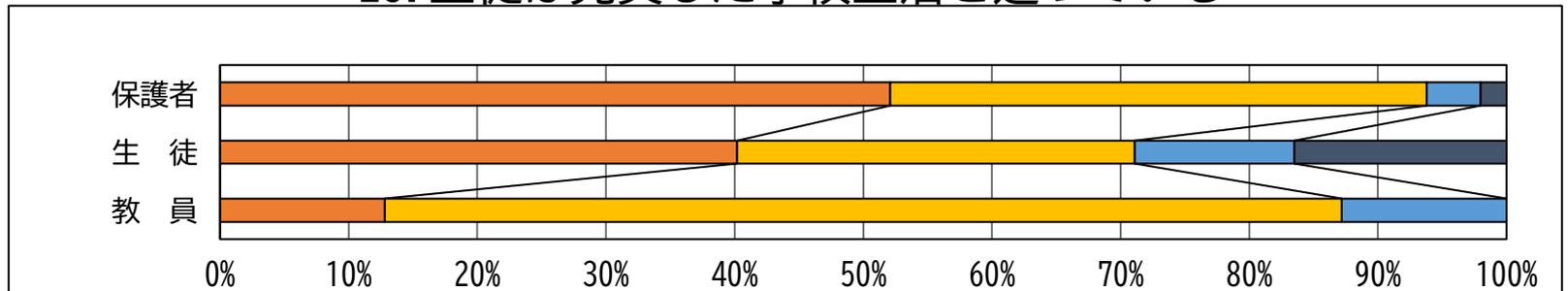
23. 校舎が衛生的に管理されている



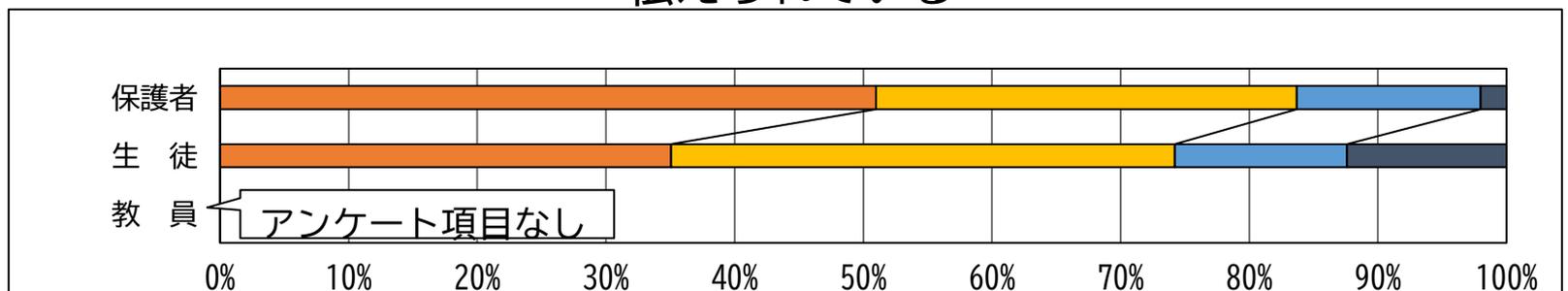
24. 校舎やグラウンドなど生徒が学習しやすい施設・設備の充実が図られている



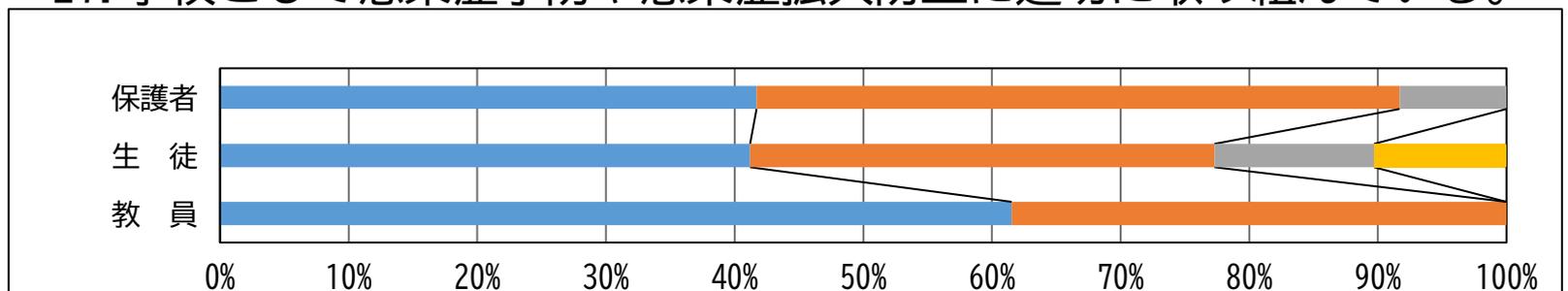
25. 生徒は充実した学校生活を送っている



26. 学校便り・ホームページなどによって、本校の情報は適切に伝えられている



27. 学校として感染症予防や感染症拡大防止に適切に取り組んでいる。



保護者の自由記述には本校の教育活動に対して肯定的な御意見が多く寄せられました。御協力ありがとうございました。